
ぐちゃぐちな愛

S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぐちゅぐちゅな愛

【Zマーク】

Z3968Q

【作者名】

S

【あらすじ】

どうやって人を愛すればいいのかなんて子供のころ、誰も教えてくれなかつた。

好きだから、あなたをぐちゃぐちゃに傷つけたい。そう告白した私は、いつものようにあなたが私を受け止めてくれると確信していた。だけどあなたは私を叱ってくれた。なんだ愛しか与えられない私のそばにあなたはいつもいてくれた。

どうやって人を愛すればいいのかなんて子供のころ、誰も教えてくれなかつた。

だからなのが分からぬ。

私は22歳で結婚をした。

ただ、私は家族が欲しかつた。

昔コマーシャルで見たような家族。

絵に描いたように仲良く夫婦が年を取り、おじいちゃん・おばあちゃんになつても二人かたく手を繋ぐような夫婦。

そんな夫婦になりたかつた。

だけど現実は違つていた。

私は25歳で離婚をし、26歳であなたと出会い30歳になる今、一緒に暮らしている。

あなたは私がすることに本氣で怒つたことはただの一度もなかつた。

私以外の人はあなたを恐い人間だと言つていたのに、あなたは私を一度も叱らなかつた。

たとえば、私が洗濯機のフタを閉め忘れたときも。

たとえば、私が野菜を炒めているフライパンから具が落ちよつとも。

あなたは決して叱らなかつた。

だから私はあなたに甘えてしまつたのだろう。

あなたが好き。

その愛はいつしか歪み始めていた。

あなたが好きだから、あなたをぐけやぐけやに傷つけたい。

こんな感情をだれが理解してくれるのだひつ。

きっと自分でも理解できない苦しむからあなたに告白したのだと今になつて思う。

だつて私は、22歳で結婚をして切符をわざとではないにしろ線路ではない地面に落としただけで、殴られていた。

生きる価値がないと散々言われ、壁に頭を打ち付けられ、お腹を足で殴られ、びりびりに破れたパジャマで家から追い出されていた。

そんな夫婦生活を送っていた私に愛を表現することなど可能なのだろつか？

毎晩、警察に保護をされていた私がそれでもあなたと会い、あなたを傷つけないよう、

元旦那と同類の人種にならないよう努めていたが、行き着くところは同じだった。

だから私は告白をした。

あなたを傷つける前に醜い私を知つて欲しかった。

あなたたは私と一生の人生を望んでくれている。

だけど私は恐い。

あなたと、いつか生まれてきて欲しい子供に私はぐちゃぐちゃな愛を与えてしまうかもしない。

だから告白したのだ。

あなたをぐちゃぐちゃに傷つけたい。

好きだから。好きだからどう表現したらいいのか分からないのだ。

そんな私をあなたは叱ってくれた。

てつ生きりにつものよつ、「どんな」とでも受け止めるよ。大丈夫だよ

そつ言つてくれると思つていた。

だけどあなたは私を叱り、ぐちゃぐちゃな愛から救い出してくれた。

もし救つてくれなければ、あなたを地獄に引き連れ私たちには終わつていたかもしがれない。

どうやって人を愛すればいいのかなんて子供のころ、誰も教えてくれなかつた。

誰も教わつていなかつたのかもしれない。

私は思い出した。

あなたと出会い、男性が恐く感じてたころ抱きしめられるだけで体が固まつていた。

キスをするだけで全身が震えていた。

恐ろしい夢を見るたびにあなたは「大丈夫だよ」と抱きしめてくれていた。

あなただけは信じられる男性で、あなただけが唯一私を信じてくれる男性であった。

私のぐぢやぐぢやな愛は、ひょっこりまた顔を出すかもしれない。

だけど私はあなたから教わつた愛を忘れないであなたと生きていこうと思つ。

忘れてしまつたとき一番に、あなたがそばにいてほしいから・・・。

(後書き)

眠れない夜に書きました。

正直な話、ノンフィクション99%です。

そう書いてみてフィクションの部分を考えてみましたが、見当たら
ないようになります^ ^ ;

ただ感謝の気持ちを残してみたくて書いてみたらラブレターになっ
てしまつてたことに後から気がつきましたが、大切に思う人を大
切にして欲しい。

そんな思いで書いた作品です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3968q/>

ぐちゃぐちゃな愛

2011年1月28日08時15分発行